

拝啓 先生方におかれましてはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

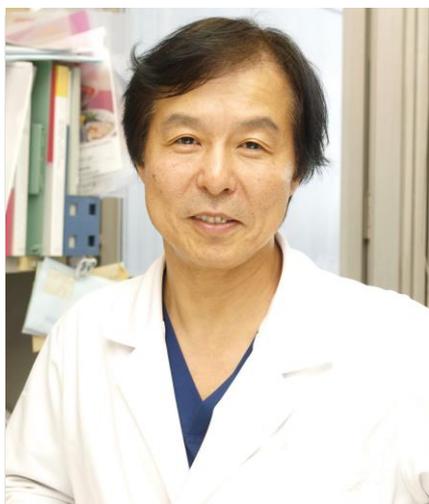
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、このたび弊社では『大塚 Live on Nutrition Seminar』を行うこととなりました。大塚 Live on Nutrition Seminar は、輸液・栄養療法に関する専門医の講演をWebを介して、先生方のご施設においてライブでご覧いただくシステムです。

ご多忙のこととは存じますがこの機会にぜひご覧いただけますよう、宜しく願い申し上げます。

敬具

「腸内フローラから見た経腸栄養管理」

～高齢者の下痢、便秘を考える～



医療法人財団緑秀会 田無病院

院長 丸山道生 先生

略歴 1980年 東京医科歯科大学医学部卒業、第1外科入局
1983年 東京都立駒込病院 病理、外科医院
1990年 カリフォルニア大学サンディエゴ校 外科
2006年 東京都立大久保病院 外科部長
東京医科歯科大学病院 外科臨床教授
2014年 田無病院 院長

学会 日本静脈経腸栄養学会 理事、日本外科学会指導医・認定医、
日本消化器外科学会指導医・専門医など

日時： 2018年10月16日(火) 18:45～19:45

会場： 明祥株式会社 金沢支店 4階会議室

住所： 金沢市無量寺町ハ1番地

講演要旨

- 腸内フローラは環境因子(ストレス、食事、手術、薬物など)によってバランスを崩しますが、この状態になると下痢・便秘を起こしたり、がん、感染症、糖尿病、肥満などを誘発する可能性もあります。腸内フローラを改善するのにプロバイオティクスやプレバイオティクスを使用しますが、下痢・便秘に対しても使用されます。このメカニズムは、①病原性細菌増殖を抑え、②免疫能を刺激し、③大腸粘膜の代謝を改善するといわれています。また高齢者における経腸栄養の合併症の多くは下痢ですが、慢性期においては便秘が問題になります。
- 今回、経腸栄養を利用した下痢・便秘対策と、腸内フローラについて紹介します。

※質疑応答の時間を設けておりますが、システムの関係上、全ての質問にお答えできない場合がございます。ご了承ください。

※Live on Nutrition Seminar は弊社の機材を使用して講演をご覧いただくシステムです。

